

◆ 平成 28 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 秩父百年の森

19B-04

代表者：理事長 田島克己

URL : <http://www.faguscrenata.com>

1. 活動が必要とされた状況

秩父地域にも増えてきた住宅近くの広い耕作放棄地はイノシシやシカなどの接近を容易にしている。耕作放棄地を苗畑として活用することにより、スギやヒノキなど伐採後に植林する苗を地域の山から採取したブナ、カエデ、ミズナラ、トチノキなど有用な落葉広葉樹を育苗し供給することが求められている。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

耕作放棄地の草刈り 4 回 平成 28 年 8 月～12 月 延べ 41 名

秩父市荒川日野田地区の耕作放棄地を整理しカエデ、ミズナラ、トチノキなどの苗畑にする。

植栽準備の地拵え 3 回 平成 28 年 10 月～12 月 延べ 27 名

秩父市有林ふたばの森、毎年行う 11 月の幼稚園児植栽活動のための地拵えと今までに植栽した森の下草刈り。

3. 活動の成果

耕作放棄地の草刈りにより新しく苗畑に活用できる。広い苗畑の管理が刈払い機使用により楽になった。住宅近くの広い耕作放棄地も刈払い機を使用した草刈りによりイノシシやシカなどの接近を食い止めることが出来る。

スズメバチの活動する時期の地拵えに対応できるように防護服を準備し安全を確保した。



(秩父市荒川日野田地区)



(秩父市高篠山ふたばの森)



4. 今後に残された課題

今後もしばらく耕作放棄地や放置された山林が増える傾向にあり、草刈りだけでも大変である。埼玉県生物多様性保全活動団体等との連携を図りながら、秩父地域の豊かな森林の保全のため、その土地の山から種を採取したカエデ、トチノキ、キハダなど水源の森だけでなく、ミツバチの蜜源植物として「森林養蜂」に活用できるフィールドを育む有用な広葉樹の育苗を拡大していくことが望まれている。